

令和7年度
No.2
2025
7月～9月

NEWSLETTER

宮崎市国際交流協会



宮崎市の姉妹都市
韓国・報恩郡中学生との交流事業
「韓国の友達を作ろう! 2025」

編集・発行 宮崎市国際交流協会
TEL0985-44-1770 FAX 0985-44-1775
miyazaki-mcia@miyazaki-catv.ne.jp



LINE@miyazaki-mcia

友だち 募集中

@612xlyhx

5分以内の返信をお願いします





国際交流員による 公立大学生のための 中国講座



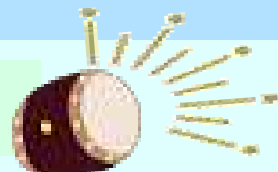
本協会と公立大学とのつながりをさらに深めるため、6月の韓国講座に続き、7月25日(金)に、本協会の国際交流員(中国担当)が公立大学の学生を対象に講話を行いました。本協会の取り組みや中国文化を紹介しました。

学生たちからは、中国語の勉強方法、国際交流員の仕事内容、そして国際交流員になるために必要なスキルなど、幅広い質問が寄せられました。

講話後のランチミーティングでは国際交流員を囲み、食事をしながら交流を深め、和やかな時間を過ごしました。



まつり えれこっちゃんみやざき 2025



7月26日(土)、「まつり えれこっちゃんみやざき市民総踊り」に宮崎市国際交流協会チームとして参加しました。中国、ベトナム、バングラデシュ、ドイツ、ベルギーなどの留学生や在住外国人、本協会とつながりのある日本人など、総勢53人が一緒に踊りました。当日は雨が降ったりやんだりするあいにくの天気で、開始前には雨に降られましたが、踊りが始まると不思議と雨がやみ、暑さも和らいだ中での総踊りとなりました。

この日のために、事前に踊りの先生をお招きし、2回の練習会を行ってきました。その成果もあり、本番では熱気あふれる、息の合った踊りを披露できました。参加した留学生や在住外国人の方からは、「日本のお祭りに参加できてうれしい」との声が多く寄せられました。



第2回いそだてCafé

8月1日(金)、宮崎市男女共同参画センター「パレット」で、外国人住民の子育てを応援する「こそだてCafé」を開催しました。

はじめに、市保育幼稚園課の職員から、保育園や幼稚園の制度や利用方法について説明がありました。続いて、初めて出産を迎える方や、すでに保育園を利用している方、母子コーディネーターさんも一緒に、園探しのポイントについて和やかに話し合いました。

参加者からは「日本の保育園や幼稚園のことがよくわかった」との声があり、安心して子育てに臨めると喜ばれていました。



韓国・報恩郡中学生との交流事業「韓国の友達を作ろう！2025」

7月23日(水)から27日(日)までの4泊5日、宮崎市の中学生10名が韓国を訪れ、姉妹都市である報恩郡の中学生と交流しました。

参加者は、現地中学生との合宿やホームビジット、K-POPダンス体験などを通して、多くの交流を重ね、積極的に友達をつくり、国際交流を深める貴重な時間となりました。また、ソウルでは宮崎県出身者が働く事業所を訪問したほか、韓国の大学で現地の学生と交流したり、朝鮮王朝時代の宮殿「景福宮」の見学をしたりと、韓国の歴史や文化にふれることができ、学びの多い体験となった。

報恩郡庁での歓迎式典



K-POPダンス体験



クレア事務所での研修



サンミョン大学での研修



景福宮



姉妹都市青少年交流事業合同報告会

9月13日(土)、市民プラザにて、本協会主催の

「韓国・報恩郡中学生との交流事業」と、清武町国際交流協会主催の「アメリカ・ワキガン市ホームステイ交流事業」の合同報告会が開かれました。いずれの交流も夏休み期間中に実施されたものです。

韓国・報恩郡との交流報告では、4泊5日の行程を振り返り、現地での出会いや文化体験を通じて多くを学び、大きな感動を得た様子が語られました。また、ワキガン市との交流報告では、現地家庭でのホームステイを通して学んだことや感じたことが発表され、参加者の成長が伝わってきました。今回の経験を通じて得た学びや感動を、今後の生活に生かしながら、将来は宮崎市、そして日本と世界をつなぐ懸け橋となってくれることを期待しています。

※「韓国・報恩郡中学生との交流事業」及び「報告会」は、宮崎市の補助事業として実施しています。

韓国・報恩郡との交流報告



ワキガン市との
交流報告



第2回わくわく世界の友だち親子交流会 ～ 夏の工作教室

8月2日(土)、宮崎公立大学交流センターで、宮崎市内の小学校で日本語を学ぶ外国籍の子どもや外国にルーツのある子ども、そして国際交流に関心のある日本人の子どもたちが、一緒になって楽しく過ごす親子交流会を開催しました。

今回は20家族・48名が参加し、夏休みの工作教室として、学年ごとに違う作品づくりに挑戦しました。

子どもたちは、初めて会う友達ともすぐに打ち解け、作品づくりを通して笑顔いっぱいであっ交流していました。

また、保護者には、宮崎市のエムハブ「MHUB(外国人ワンストップ インフォメーションセンター)」から、市内に暮らす外国人住民の現状や活動についてのお話があり、熱心に耳を傾けられていました。



第3回こそだてCafé



9月6日(土)、スターバックス宮崎赤江店のご協力のもと「こそだてCafé」を開催しました。

当日は、インドネシアから3か月の赤ちゃんや10歳のお子さん、バングラデシュから10か月の赤ちゃん、イギリスから11か月の赤ちゃんやそれぞれの保護者の方が参加され、日本と自国での子育ての違いや、子育ての楽しみについて笑いを交えながら語り合いました。

また、宮崎市のMHUBによる防災アプリ「ハーザードン」の紹介も行われ、津波や避難所の場所を確認できるなど、防災に役立つ機能について学ぶことができました。

※こそだてCaféと親子交流会は、宮崎市の補助事業として実施しています

料理を作って異文化理解！

9月20日(土)、本場のミャンマー料理を味わいながら交流する「ミャンマー料理交流会」を開催しました。

当日は、緑茶の葉を発酵させて作るサラダ「ラペットウ」、麺料理「ナンジートウツ」、黒砂糖のデザート「モーロンイエボー」などが並び、会場はおいしい香りと笑い声でいっぱい！

初めての味に驚いたり、作り方を教わったりしながら、参加者同士の会話も自然と弾みました。

本協会では、料理をきっかけに外国人住民と地域の皆さんがつながり合える場をつくっています。災害時にも役立つ「顔の見えるつながり」を広げる大切な活動です。これからも、世界の料理を楽しみながら交流できるイベントを企画していきます。



お知らせ 10月から住吉と田野で秋の日本語教室を始めます。11月からは、12月に行われるJLPT対策講座をオンラインで行います。詳しくは本協会のHPをご覧ください。

